

平成 23 年 7 月 1 日

私は、小学 6 年生と 4 年生の母親です。
自宅は壊れず、ライフラインも無事なため、
3 月 11 日からずっと福島県郡山市内に住んで
います。

3 月中は、国も津波災害の対応で、子供た
ちの放射能による対策が取られていないだけ
だと信じていました。学校は休みになり、プ
リントをもらいに私だけ学校に行きました。
その時の給食のプリントには、広く県外から
食材を求めるとあり、しゃんと考えていく
れと安心していました。

ところが、4 月まで福島県産の原乳に放射能
物質が検出されていたのに、4 月 27 日から県
産の原乳に切り替わると通知がきたのであ
り、とても驚きました。せめて 1 年いや半年は、
もっと安全に対応してくれると信じていたか
らです。牛乳は心配なので残すように子供た
ちにお話をしました。家で、朝、夕に遠い

産地のを飲ませるからと。子供たちは、給食はみんなと同じが良いと言ひ、牛乳のみ残させました。本意は、野菜もに配でしたが、クラスで一人ずつ持っている我が子もに配でした。

そうして残した福島の牛乳を、クラスメイトがおかゆりしてしまい、私はかなりショックを受けました。「うちの子供を根ばくさせないために他のお友達を根ばくさせている」と

外での活動の件では、4年生の子供が、「ぼくは外で遊ばないけどみんなが外遊びして昇降口に砂を落とすから一緒にだま。」と言ひ正直そこまで考えていなかった。私は、一人だけ気を付けていてもダメだと思いました。

彼は、近所の公園で1時間キャッチボールをした翌日行ったスクリーニングで、ジャンパーや靴、手袋が汚染されていることを知ったので子供なりに外で遊ぶたりと言わたくなっていました。大好きな野球も出来ません。

6年生の子供は、週3日サッカーを習っていました。外で遊ぶのは大好きです。

学校では、安全面と改装中の下の外の活動は制限されていきました。安心していました。

ところが、文部省の「よまろくろい-ベイルト」/毎時の基準が出来て、うちの学校はその「2時間部活と1時間の外活動」となりました。5月20日から活動解除と予定になり、いよいよも、7待、7くれな、状況になりました。

仕事を辞められた主人、私は子供だけで避難を受け入れてくれる所を探しました。

初めは、主人が病気になる前で母子3人を避難予定していましたが、私も治療費のため、主人は治療のため郡山から知りなくなりました。3人で遠くへ行こうと話した時、「お母さんだけ行ける？」

「お父さんと友達と離れたくない！」と言われた悲しさ分かってもらえませんでした。

将来の危険より、今の生活、子供の自決、子供たちの世界...

私だって、最高学年の6年生で今の学校から離れさせるのは、しのびないです。昨午リレ-の選手だったのも今年も活やくが見られると楽しみにしていました。教だって本意は今の学校が良いのです。

でも、国も県も市も動いてくれたから、仕方ないのです。モニタリングだけで誰も子供たちを守ってほくれないのです。

厚労をなくせ！とは言いませんし、裁判に勝つこと、お金をもらうことが目的ではありません。

ただただ子供たちの健康、安全を守って欲しいだけです。

せめて、安全が確認されていながら住むのに、通学する(それも長期間)に危ないと言っただけで良いかでお願いします。

子供たちを助けてください。

以上